

2026
1
月号

県民の森 だより



宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料

〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41

(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

利用時間：4月～10月／9時～16時30分

11月～3月／9時～16時

HPはこちら！

明けましておめでとうございます。今年はいま年なので、県民の森の中で見られるうまに因んだ名前の植物をご紹介します。まずは「アセビ」早春に白い壺型の花が鈴なりに咲きます。漢字では「馬酔木」と書きます。宮城県が北限ですが県民の森は植栽です。次は「ウマノアシガタ」春から初夏にかけて黄色い花を咲かせます。県民の森ではよく見かける草花の一つです。以上2つとも有毒なので注意が必要です。最後は「コマツナギ」マメ科の小低木で漢字では「駒繫」と書きます。名前の由来は諸説ありでいずれもうまと関わりがあるようです。今年はいま森でうまを探してみてください。(所長：森山稔也)

青少年の森 冬期間トイレ閉鎖

冬期間中、青少年の森・森林学習館隣のトイレは、凍結の恐れがあるため閉鎖させていただきますのでご了承ください。なお、森の学び舎側のトイレは通常通りご利用頂けます。

道路凍結危険の為 冬期間道路閉鎖



2025年12月20日より
2026年3月31日まで

■今年のチェーンソーアート■

青少年の森のチェーンソーアートに、飛躍の年の馬が仲間入りしました！スギが3本あわさった力作です！

毎年なのですが、表情も豊かで、素晴らしい仕上がりにです。お立ち寄りの際には、是非、ご覧ください！



★県民の森クローズアップ NO.9★



かんざし

山の神の簪「マンサク」

新年明けましておめでとうございます。さあ、山にも春がそこまで来ていますよ。

春を告げる花と言えば、「マンサク」でしょう。「マンサクが咲いたから、山の神様が戻ってきたべ」と言われています。その名の由来も「まんず咲く」⇒「まんずさく」⇒「マンサク」がー説です。また、マンサクが良く花をつける年は豊作であり、花色が濃い年の春先は寒暖が大きいと言われています。

1月の初めは枝に黄色い蕾を付けていますが、中旬ごろには谷あいの日当たりの良いところから、ちらちらと黄色い花が開いてきます。残雪を踏みながら、暖かい日を選んで、春を見つけ

に行きましょう。時間帯は10時から12時ぐらいの花が良く開いた時間帯が最高です。但し、間違っても枝を折るようなことの無いように、昔から「枝を折ると春が逃げていく」と言われていますので。

(遠藤)



また、少し遅れて「アカバナマンサク」も咲きだし、雪の中に赤い花もとってもきれいです。紅の花がけなげにも忍耐強く彩っています。



アオキ 青木
(アオキ科アオキ属)

今月の

スタッフが 찾았다 시엔의 히토코마
けんみんのもり写真館

ベニマシコ
紅猿子
(スズメ目アトリ科)



常緑で、枝葉が年中青々として
いることが名前の由来で日本原産
の低木です。学名は「Aucuba
japonica」で、アオキの別名アオ
キバに由来します。

果実はこの時期から春にかけて
熟し、冬枯れの森に彩りを添える
貴重な存在です。純白の雪、
緑の葉、真紅の果実のコ
ントラストは『雪の日の
アオキ』と称され、古く
から観賞の対象として親
しまれたと言われています。

他の植物と異なり、なぜこの
時期に熟すのでしょうか。ヒヨドリ
の渡りの時期に合わせているの
ではないかとする説があります。
ヒヨドリに被食散布してもらおう
という戦略です。果実は 1.5 ~
2cm の長楕円形で、ちょうどヒ
ヨドリの口に合わせたような大き
さです。ヒヨドリに被食散布され
た種子は被食されないものよりも
発芽率が明らかに高いことが証明
されています。

注) ツグミやムクドリも食べます
が、主に食べるのはヒヨドリと言
われています。(片岡)



ネムノキ 合歓木
(マメ科ネムノキ属)

冬の遊歩道では、さまざまな
草木の実を見ることができます。
木の枝に何がぶらさがっているか
と思えば、7月号でご紹介
した「ネムノキ」の実で

す。マメ科だなあ・・・
と思わず納得してしま
う 10 cm くらいのサ
ヤがたくさん生ってい
ます。サヤは冬になっ
てもなかなか開かず、風
に乗って飛んでいくようです。中身
も、軽く薄っぺらいタネ。

うっかりすると見過ごしてしま
いがちですが、花が終わった後に
緑色のサヤエンドウのような実が
たわわに生っ
ています。

(田 沢)



今年も冬芽の展示を、中央記念館
の展示ホール(クラフトコーナー横)
で始めました。小さな小人さんたち
のような表情をお楽しみく
ださい。暖かくなって、葉
や花に展開していく様子も
面白いもので



オス

新年なので紅くめでたい感じの
ベニマシコをご紹介します。

ヨシ原や冬枯れの林に近い藪な
どに隠れています。耳を澄ませて
地鳴きの「フィッ、フィッ」を頼
りに目を凝らし、紅色をそっと探
してみてください。小さな丸いくち
ばしで草の実をついばんでいるか
もしれません。オスは冬羽も紅く
特徴的ですが、メスは明るめの胡
桃色で枯れ野の藪に上手く隠れて
います。

名前の由来は紅色の「ベニ」、
赤い顔をした猿(猿子)で「マシコ」
を指します。スズメよりやや小さ
めの約 15cm、漂鳥に分けられま
すが、宮城県では 10~4 月頃
に見られます。本州以南で冬を過
ごし、春から夏は青森県や北海道で
繁殖。その頃のオス夏羽はイチゴ
の様に紅くなるそうです。そんな
姿も観察してみたいですね。

(写真:もちお・文:もち)



メス

森のひみつ
〜春を待つ冬芽たち〜

オニグルミ

リョウブ

なんのかたちに見えるかな?

手に取ってルーペで
観察して下さい

